

■現行ビジョン策定作業時(2011年～2012年)の時代背景

- 平成23年(2011年) 3月 東日本大震災、歴史的円高 一時1ドル=75円32銭
7月 なでしこジャパン W杯優勝
9月 菅直人総理 → 野田佳彦総理
- 平成24年(2012年) 8月 消費税法が成立(平成26年4月:8%、平成27年10月:10%)
9月 政府が尖閣諸島を国有化
11月 中国共産党総書記に習近平氏が選出
12月 政権交代(野田総理→安倍総理(第1次))

【国の方針】

内閣総理大臣 野田佳彦 (H23.9～H24.12)

日本再生の基本戦略(H23.12)

≪現状認識≫ 日本は、未曾有の人口減少社会を目前に控え、「2つの危機」の真っ最中に位置している。

・構造転換が遅れ、失われた20年。東日本大震災、原発事故、円高

≪政策方針≫ 危機の克服を図り、「フロンティア」への挑戦に臨む

- ・東日本大震災や原発事故等を受けて、東日本の復興を支え、震災前から直面した課題に対応するため、本戦略を取りまとめた被災地においては、「新成長戦略」の施策を先進的に実施することで、被災地の復興を日本再生の先駆例としていく
- ・「新成長戦略」は加速・断行をした上で、経済連携やイノベーションを推進し、グローバル化のもたらす便益を追求し経済成長に繋げる
- ・グローバル化と向き合いつつ、分厚い中間層を復活し、持続可能で活力ある地域社会を構築する
- ・インクルーシブな成長、人間の安全保障など、人の温もり・地域の温かさを大切にする取組を内外に展開する

現行ビジョン策定作業時(2011年8月~2012年8月)からの社会情勢の変化

■流行語大賞

2011年

大賞	なでしこジャパン
	絆
	スマホ
	どじょう内閣
	どや顔
トップテン	帰宅難民
	こだまでしょうか
	3.11
	風評被害
	ラブ注入

2021年

大賞	リアル二刀流/ショートタイム
	うっせえわ
	親ガチャ
	ゴン攻め/ビッタビタ
	ジェンダー平等
トップテン	人流
	スギムライジング
	Z世代
	ぼったくり男爵
	黙食



■Google検索ランキング

2011年

1位	地震
2位	停電
3位	放射能
4位	原発
5位	東京電力
6位	iPad2
7位	iPhone5
8位	セシウム
9位	Facebook
10位	Google

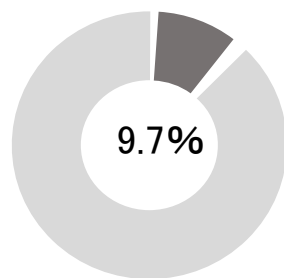
2021年

1位	東京 2020 オリンピック
2位	大谷翔平
3位	東京リベンジャーズ
4位	モンスターハンターライズ
5位	呪術廻戦
6位	ウマ娘 プリティーダービー
7位	新型コロナウイルスワクチン
8位	小松菜奈
9位	夏目三久
10位	小山田圭吾

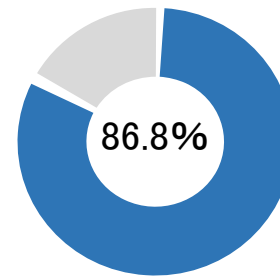


■スマートフォン普及率

2010年

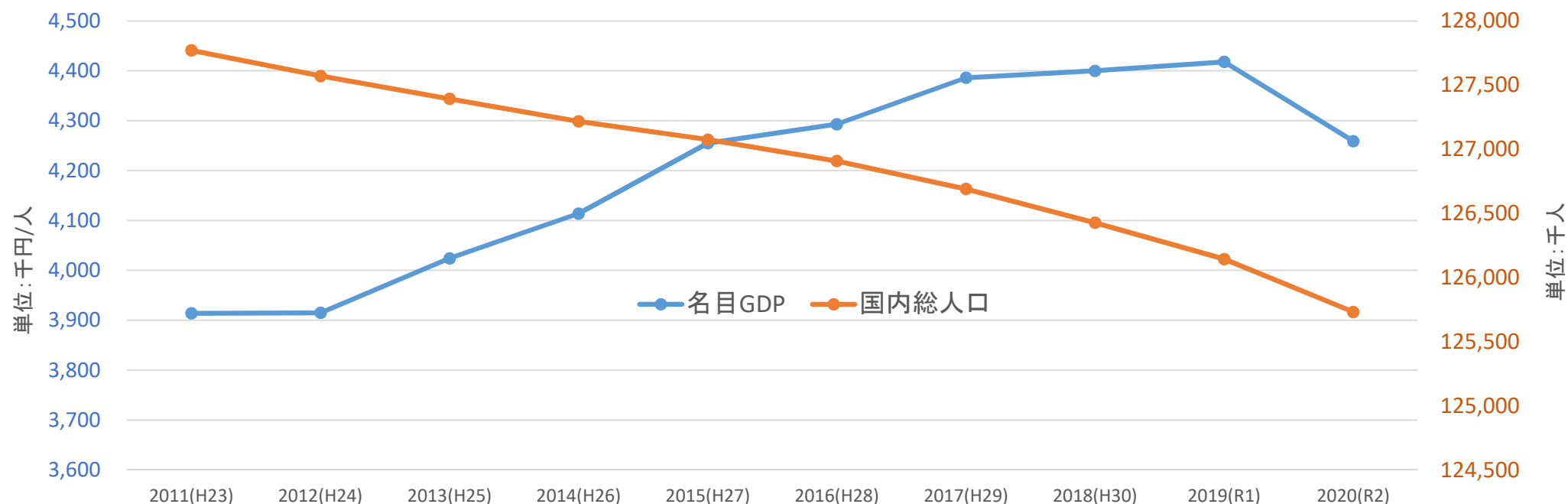


2020年



社会情勢の変化(その2)

我が国の人口・1人当たりGDP



内閣府経済社会総合研究所「年次推計主要計数」

10年間の動き(経済関係)

【主な出来事】

平成23年(2011年)	東日本大震災	平成29年(2017年)	トランプ政権発足
平成24年(2012年)	アベノミックス開始(3本の矢)	平成30年(2018年)	働き方関連法案
平成25年(2013年)	日銀が異次元の金融緩和	令和 元年(2019年)	出入国在留管理庁が発足(外国人受け入れ)
平成26年(2014年)	消費税が8%へ	令和 2年(2020年)	国内で新型コロナ初感染
平成27年(2015年)	ギリシャ金融危機	令和 3年(2021年)	日経平均が32年ぶりの高値(2万8791円)
平成28年(2016年)	出生数 100万人割れ	令和 4年(2022年)	ロシアがウクライナへ侵攻 24年ぶりの円安水準

滋賀県の施策の推移

■滋賀県基本構想
始期:H23年度(2011年度)
終期:H26年度(2014年度)

知事 嘉田由紀子
第2期(H22.7~H26.7)

「**住み心地
日本一の滋賀**」
~未来を拓く共生社会へ~

- 不安なく楽しく暮らせる滋賀
- 人と自然がつながる美しい滋賀
- たくましく活力に満ちた滋賀
- 安全・安心な滋賀

<目指す2030年の姿>
環境と共生を図りながら、地域特性を活かした産業が展開する資源循環型の社会で、自然災害に強く、安心して暮らせる社会

■滋賀県基本構想
始期:H27年度(2015年度)
終期:H30年度(2018年度)

知事 三日月大造
第1期(H26.7~ H30.7)

「**夢や希望に満ちた
豊かさ実感・滋賀**」
~みんなで作ろう新しい豊かさ~

- 「自分」の豊かさ
- 「今」の豊かさ
- 「もの」の豊かさ
- みんなが将来も持続的に実感できる「心」の豊かさ

<目指す2040年の姿>
県民一人ひとりが考え、行動することで、つながりや調和のある豊かさ実感・滋賀

■滋賀県基本構想
始期:R 元年度(2019年度)
終期:R12年度(2030年度)

知事 三日月大造
第2期(H30.7~ R4.7)

「**変わる滋賀 続く幸せ**」
~将来世代も含めた誰もが新しい豊かさを感じながら自分らしく生きる~

- 人生100年 **自分らしい未来を描ける生き方**
- SDGs・三方よし **未来を拓く新たな価値を生み出す産業**
- 脱炭素化社会 **未来を支える多様な社会基盤**
- 第4次産業革命 **未来につなげる豊かな自然の恵み**

<目指す2030年の姿>
「経済」・「社会」・「環境」の調和による持続可能な滋賀

■SDGs未来都市
R元年(2019年)7月に滋賀県が選定



■「しがCO₂ネットゼロムーブメント」キックオフ宣言
(R2年(2020年)1月)

SDGs未来都市として2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指す。



■滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

R4年(2022年)4月1日 施行

SDGs未来都市(滋賀×SDGs)の取組

■SDGs未来都市とは

- 中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体によるSDGsの達成に向けた取組
- 国(SDGs推進本部)が地方創生分野における日本の「SDGsモデル」の構築に向け、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として選定

■滋賀県の「SDGs未来都市」選定までの経緯

- 平成29年(2017年)1月 知事がSDGsを県政に取り込むことを宣言
- 平成31年(2019年)3月 SDGsの特徴を生かした滋賀県基本構想を策定
- 令和元年(2019年)7月 SDGs未来都市に選定

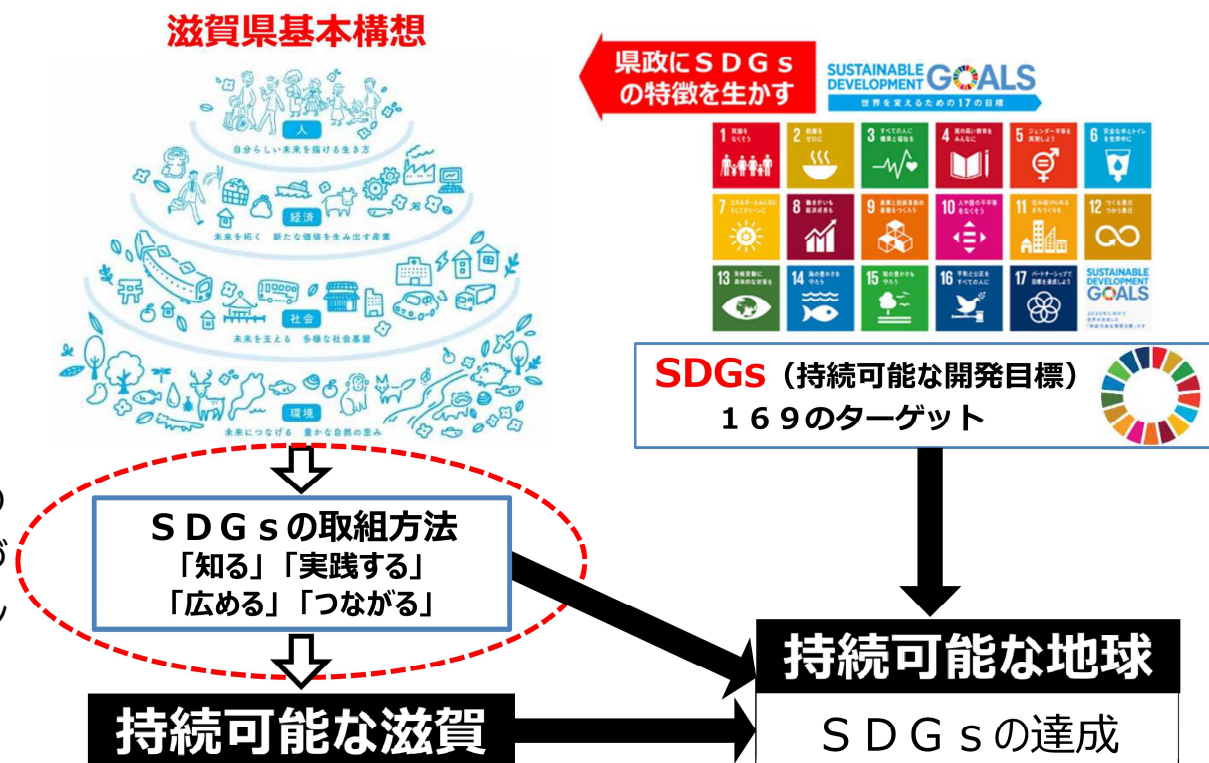
■滋賀県の提案内容

<テーマ>

世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現

<趣旨>

本県には、近江商人の「三方よし」や、糸賀思想、石けん運動など、SDGsにつながる取組みがあり、このことを踏まえ、琵琶湖をはじめとする豊かな自然や、歴史・文化、活力ある農山村、共生社会など、滋賀が育んできた地域資源の価値を正しく知り、滋賀の持続的な発展に活かす担い手づくりを推進することで、経済、社会、環境の三側面のバランスを図り、持続可能な滋賀を目指す。



滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例 令和4年4月1日施行

地球温暖化の脅威が差し迫る中、**2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロ**の実現に向けて、原発が想定どおり稼働せず、将来の見通しも不透明な状況であることを認識しつつ、再エネ拡大と省エネにより化石燃料への依存からの脱却を図り、真の意味で持続可能な社会の構築につなげる一歩として条例を改正する。

条例の目的

- CO₂ネットゼロ社会づくりに関する
- 基本理念、関係者の責務の明示
 - 県の基本的施策や取組等を規定

CO₂ネットゼロ社会づくりによる
現在・将来の県民の豊かさの確保

CO₂ネットゼロ社会の定義

温室効果ガス
排出量
実質ゼロ

地域の
持続的な
発展

気候変動への適応

基本理念

- ① 社会構造の転換
- ② すべての者の主体的な参画
- ③ 関係者の連携と協働
- ④ 環境保全・県民生活向上・経済発展の統合的な推進
- ⑤ 地域資源の有効利用による地域活性化

関係者の責務

- 県** 総合的・計画的な施策の策定・実施
市町等との連携、県民等の取組促進
- 事業者** 事業活動を通じた自主的かつ積極的な取組
- 県民** 日常生活における自主的かつ積極的な取組

基本的施策

【CO₂ネットゼロ社会づくり推進計画】

- 温室効果ガス排出量の削減目標
 - 再生可能エネルギー導入目標
 - CO₂ネットゼロ社会づくり施策・目標
(温暖化対策・エネルギー政策・気候変動適応策)
 - 温室効果ガスの吸収量の目標
- ほか

計画の推進基盤の整備

- 推進体制の整備
- 調査研究・関連産業の育成振興
- 情報提供・意見交換機会の確保等
- 県の率先実施(省エネ推進等)
- 取組指針の策定
- 環境学習の推進・専門的人材の育成
- CO₂ネットゼロに資する事務事業の企画等

CO₂ネットゼロ社会
づくり審議会

各分野における取組

気候変動を緩和するための取組

- 事業活動**
- CO₂ネットゼロへの挑戦と事業の成長・発展の両立を図る事業活動の促進
- 事業者行動計画(排出削減の取組・再エネ導入の取組等)の提出
 - 事業者が取り組むよう努めるべき事項(エネルギー使用量の把握、省エネ製品等の使用、グリーン購入、廃棄物抑制、製品等の開発等、消費者への情報提供、カーボンプレジットの販売等)

- 自動車等**
- 便利でよりCO₂排出の少ない交通
- 次世代自動車等の製造販売・購入等
 - 自動車利用者等が取り組むよう努めるべき事項(自動車走行量の抑制、アイドリングストップ)
 - 自動車輸送の合理化
 - 自動車管理計画の提出

- 日常生活**
- ムーブメント創出を通じた県民の主体的行動の喚起
- 県民等が取り組むよう努めるべき事項(エネルギー使用量の把握、省エネ製品等の使用、CO₂ネットゼロにも配慮したグリーン購入、廃棄物抑制、カーボンプレジット付き製品の選択等)

- 再生可能エネルギー等**
- CO₂フリーなエネルギーへの転換の加速
- 再生可能エネルギー等の積極的な利用
 - 再生可能エネルギーの地産地消
 - 再生可能エネルギー発電設備設置に当たっての環境への配慮等
 - 水素エネルギーの利用の促進
 - 再生可能エネルギー供給拡大計画の提出

- まちづくり・建築物・森林・農業等**
- 快適でエネルギー効率の高い建築物の普及拡大
- 新築時等の建築物に係る省エネ性能の向上・再エネ利用等の排出削減の取組
 - 県産材使用住宅・省エネ住宅等の普及
 - 開発事業の立案段階の検討
 - 自家用自動車に過度に依存しないまちづくり

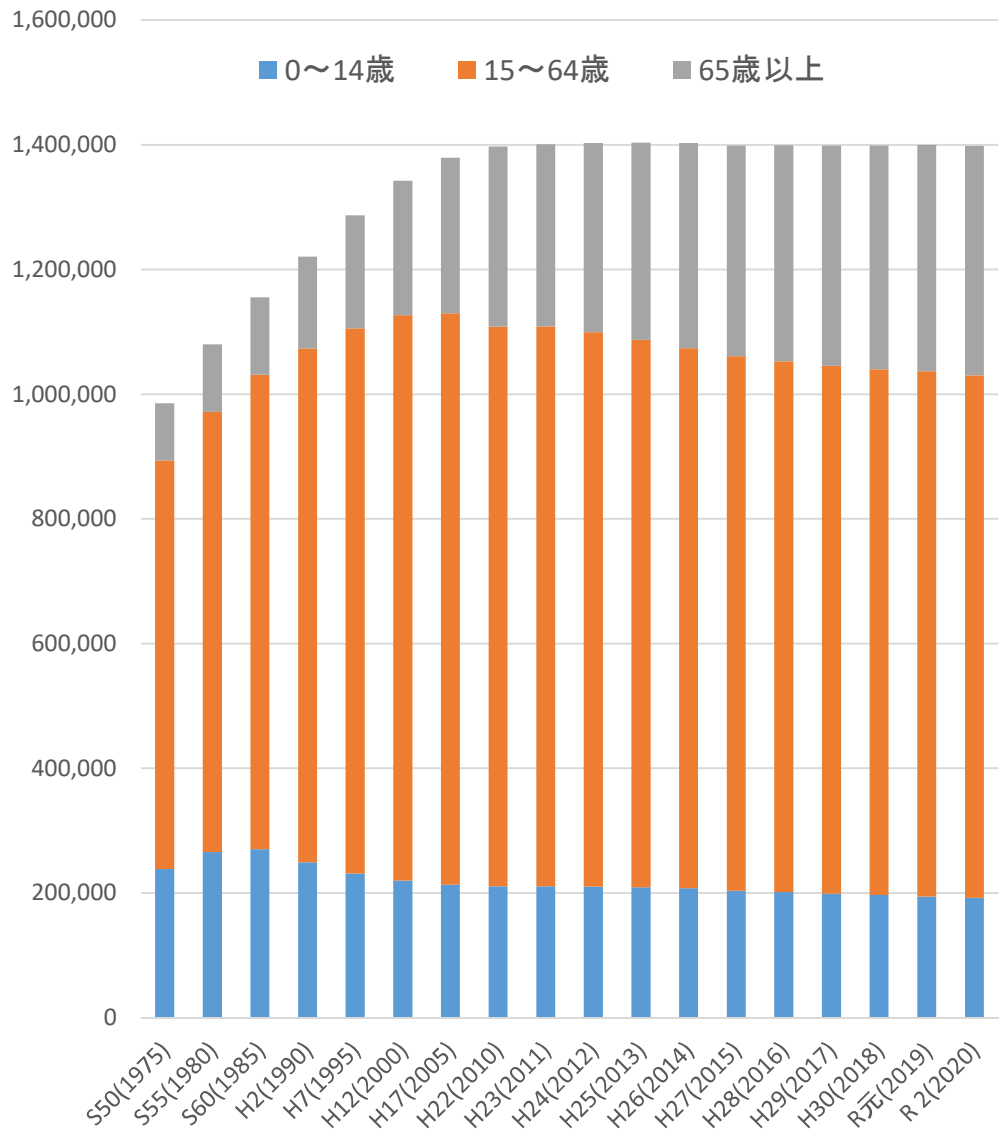
- CO₂ネットゼロにつながる持続可能な農林水産業
- CO₂ネットゼロに配慮した農業生産
 - 農畜水産物の地産地消
 - 森林の保全・整備等

気候変動に適応するための取組

- 適応策の推進
- 県民等への啓発
- 気候変動適応センターの機能確保

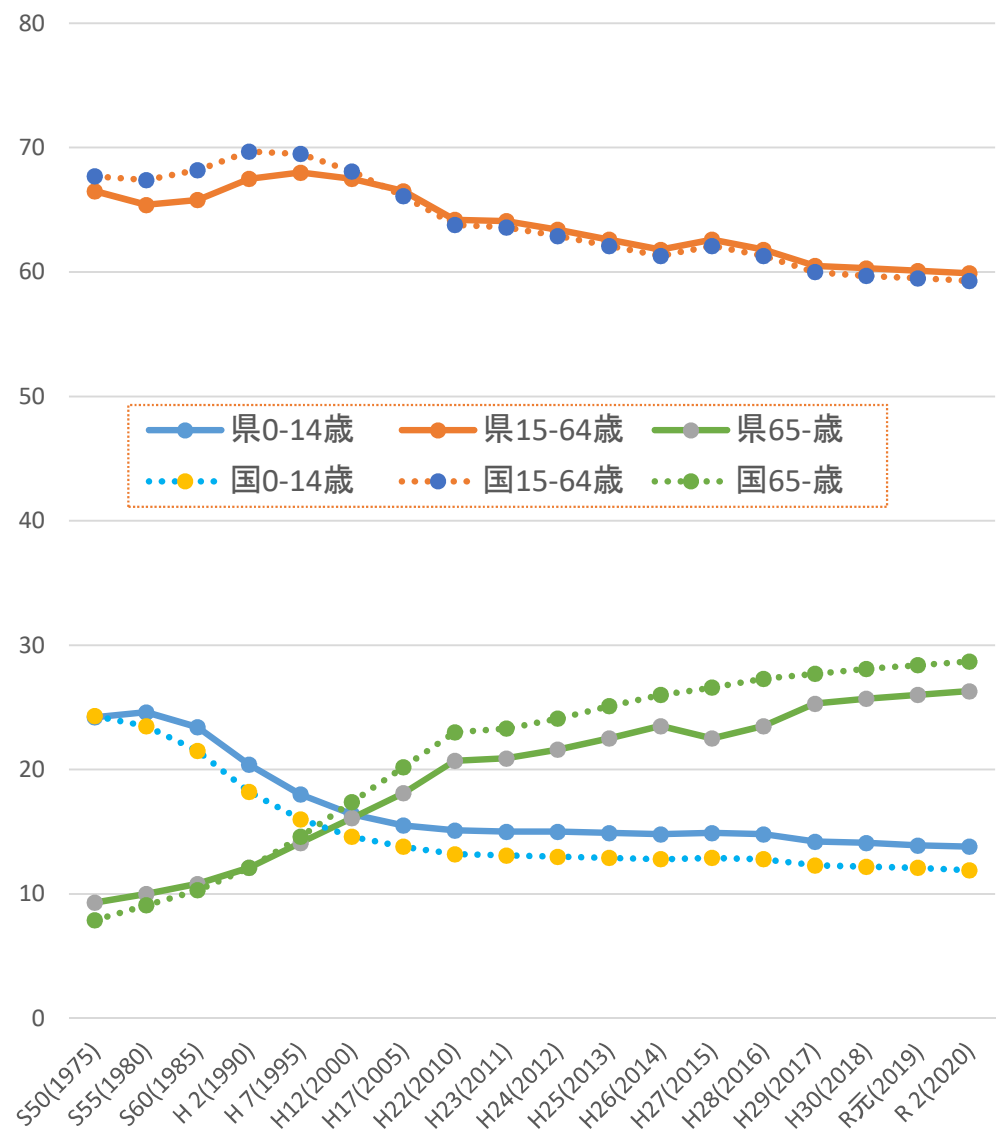
【参考1】滋賀県の人口と年齢別構成の推移

■ 県人口と年齢3階層の推移



単位：人

■ 年齢3階級構成比(国-県)の推移

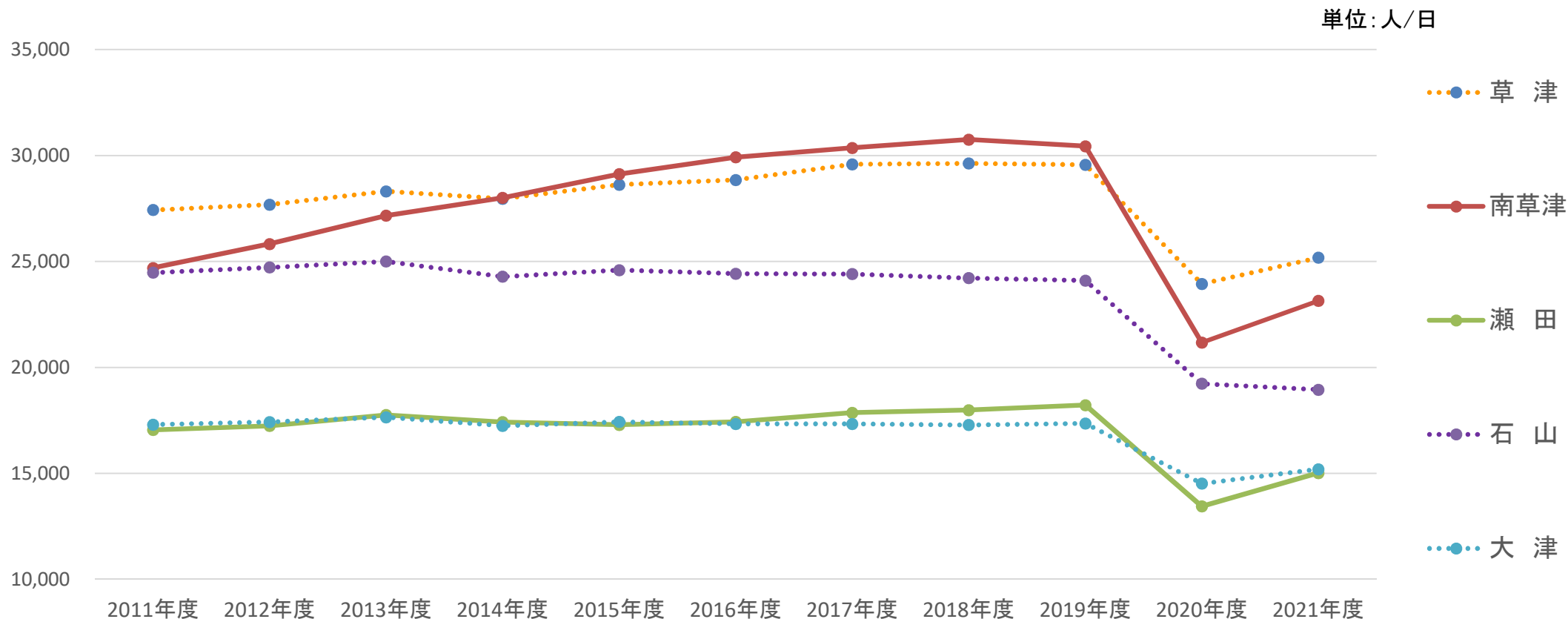


単位：%

滋賀県統計課「滋賀県統計書」

【参考2】公共交通機関の利用状況(その1)

■JR利用者(駅別)の推移

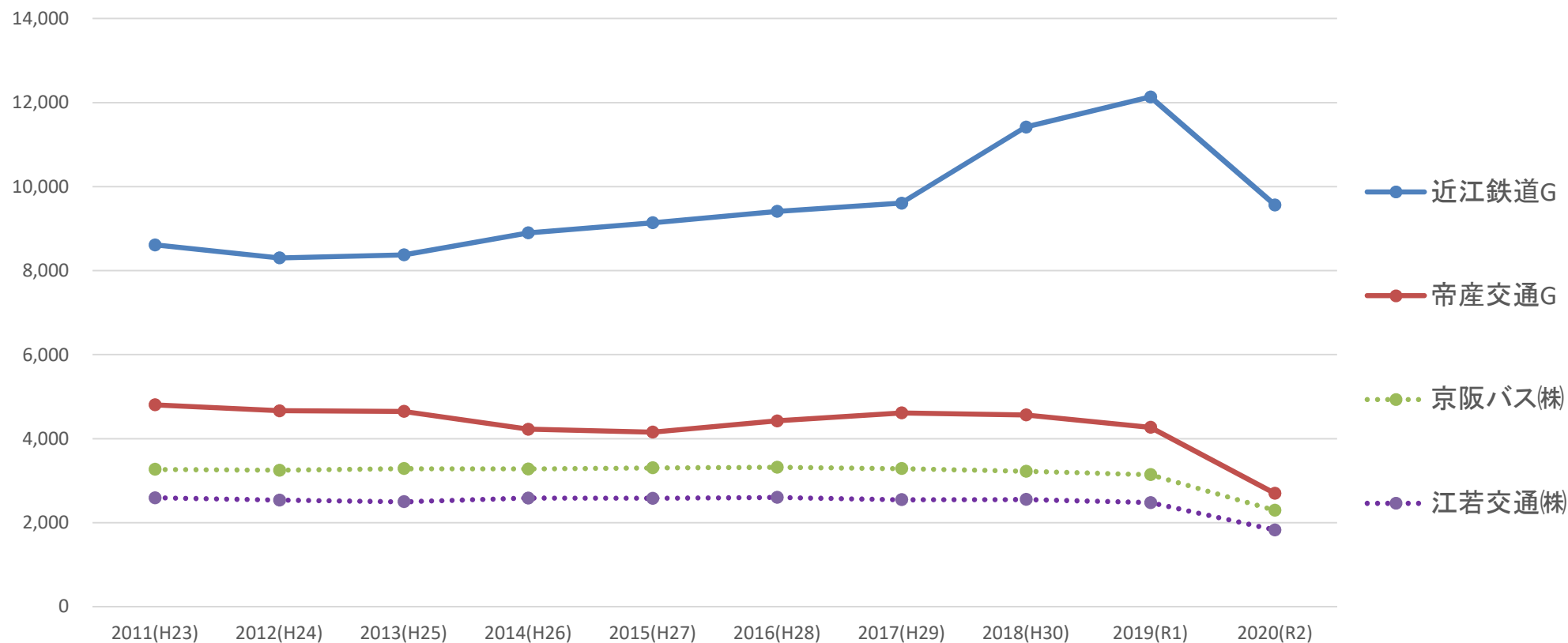


	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	H23→R1	H23→R3
米原	4,544	4,758	4,960	4,943	5,204	5,262	5,342	5,514	5,441	3,754	4,023	119.7%	88.5%
彦根	10,184	10,397	10,751	10,509	10,821	10,871	10,889	10,717	10,489	8,194	8,444	103.0%	82.9%
南彦根	5,283	5,438	5,477	5,356	5,528	5,677	5,839	5,903	5,900	4,431	4,834	111.7%	91.5%
近江八幡	17,134	17,320	17,705	17,479	17,948	17,972	17,868	18,121	17,734	13,853	14,118	103.5%	82.4%
草津	27,435	27,687	28,315	27,966	28,629	28,854	29,591	29,632	29,569	23,947	25,182	107.8%	91.8%
南草津	24,694	25,829	27,168	28,006	29,128	29,924	30,363	30,755	30,442	21,172	23,148	123.3%	93.7%
瀬田	17,052	17,241	17,758	17,424	17,296	17,431	17,867	17,988	18,224	13,446	15,020	106.9%	88.1%
石山	24,476	24,722	25,004	24,285	24,596	24,429	24,413	24,223	24,103	19,236	18,953	98.5%	77.4%
大津	17,304	17,430	17,653	17,251	17,431	17,337	17,339	17,289	17,358	14,522	15,199	100.3%	87.8%
琵琶湖線18駅計	219,090	222,996	229,143	225,467	229,547	230,635	233,176	235,110	234,416	183,077	190,019	107.0%	86.7%

【参考3】公共交通機関の利用状況(その2)

■滋賀県内の路線バス利用者(企業グループ別)の推移

単位: 人/日



	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2011→2019	2011→2021
近江鉄道G	8,613	8,303	8,375	8,899	9,141	9,411	9,607	11,418	12,136	9,564	140.9%	111.0%
帝産交通G	4,808	4,666	4,649	4,226	4,155	4,424	4,615	4,566	4,271	2,700	88.8%	56.2%
京阪バス(株)	3,273	3,252	3,289	3,281	3,309	3,322	3,291	3,228	3,146	2,296	96.1%	70.1%
江若交通(株)	2,593	2,540	2,501	2,589	2,584	2,604	2,550	2,555	2,481	1,830	95.7%	70.6%
県内総数	20,701	20,145	20,249	20,407	20,617	21,176	21,415	23,101	23,470	17,487	113.4%	84.5%

【参考4】余暇活動の変化

■2019年(R1)

順位	余暇活動種目	万人
1	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）	5,430
2	外食（日常的なものは除く）	4,180
3	読書（仕事、勉強などを除く娯楽としての）	4,170
4	ドライブ	4,160
5	映画（テレビは除く）	3,610
6	複合ショッピングセンター、アウトレットモール	3,560
7	音楽鑑賞（配信、CD、レコード、テープ、FMなど）	3,470
8	動物園、植物園、水族館、博物館	3,340
9	ウインドウショッピング（見て歩きなど娯楽としての）	3,070
10	ウォーキング	3,030
11	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等）	2,990
12	カラオケ	2,980
13	ビデオの鑑賞（レンタルを含む）	2,710
14	SNS、ツイッターなどのデジタルコミュニケーション	2,620
15	園芸、庭いじり	2,560
15	宝くじ	2,560
17	体操（器具を使わないもの）	2,410
18	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	2,370
19	音楽会、コンサートなど	2,310
20	ジョギング、マラソン	2,160

■2020年(R2)

順位	余暇活動種目	万人
1	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）	5,400
2	外食（日常的なものは除く）	4,350
3	読書（仕事、勉強などを除く娯楽としての）	4,110
4	ドライブ	3,960
5	映画（テレビは除く）	3,740
6	複合ショッピングセンター、アウトレットモール	3,550
7	音楽鑑賞（配信、CD、レコード、テープ、FMなど）	3,540
8	動画鑑賞（レンタル、配信を含む）	3,510
9	動物園、植物園、水族館、博物館	3,330
10	ウォーキング	3,220
11	カラオケ	2,980
12	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等）	2,940
13	ウインドウショッピング（見て歩きなど娯楽としての）	2,920
14	宝くじ	2,640
15	SNS、ツイッターなどのデジタルコミュニケーション	2,580
16	園芸、庭いじり	2,500
17	音楽会、コンサートなど	2,260
18	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	2,190
19	体操（器具を使わないもの）	2,150
20	テレビゲーム（家庭での）	2,070

■2021年(R3)

順位	余暇活動種目	万人
1	動画鑑賞（レンタル、配信を含む）	3,900
2	読書（仕事、勉強などを除く娯楽としての）	3,650
3	音楽鑑賞（配信、CD、レコード、テープ、FMなど）	3,410
4	国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）	3,390
5	ドライブ	3,340
6	外食（日常的なものは除く）	3,330
7	ウォーキング	3,290
8	映画（テレビは除く）	2,750
9	SNS、ツイッターなどのデジタルコミュニケーション	2,580
10	複合ショッピングセンター、アウトレットモール	2,530
11	園芸、庭いじり	2,410
12	体操（器具を使わないもの）	2,330
13	宝くじ	2,240
14	ジョギング、マラソン	2,220
15	ウインドウショッピング（見て歩きなど娯楽としての）	2,140
16	テレビゲーム（家庭での）	2,070
17	温浴施設（健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯等）	1,910
18	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	1,860
19	動物園、植物園、水族館、博物館	1,790
20	トレーニング	1,750
20	カラオケ	1,750